

上戸田地域交流センター及び戸田市立図書館上戸田分館指定管理者候補者の選定結果について

戸田市健康福祉部福祉保健センター  
戸田市教育委員会生涯学習課

令和6年8月1日から令和6年9月2日まで募集を行った上戸田地域交流センター及び戸田市立図書館上戸田分館の指定管理者については、戸田市議会12月定例会の議決を経て指定しました。

つきましては、指定管理者候補者の選定に当たっての経緯等について公表いたします。

1 上戸田地域交流センター及び戸田市立図書館上戸田分館指定管理者について

指定管理者：フレンドシップ上戸田共同事業体

代表法人 ヤオキン商事株式会社

東京都足立区足立四丁目28番10号

代表取締役社長 伊藤治光

構成法人 株式会社サンワックス

埼玉県熊谷市問屋町二丁目5番13号

2 指定の期間について

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

3 応募の状況について

応募申請団体数 令和6年9月2日締め切り 2団体

4 指定管理者候補者の選定について

(1) 審査項目

法人等の経営基盤が安定しているか。

指定管理業務を行うに当たっての基本方針について。

施設・設備の維持管理計画について。

管理執行体制について。

管理運営に係る収支計画について。

指定期間5年間の計画について。

個人に関する情報の適切な取扱いは確保されているか。

利用者のトラブルの未然防止と対処方法について。

危機管理に対する方針について。

環境等に配慮した運営方法となっているか。

その他効果的、効率的な管理運営を行う計画があるか。

(2) 選定委員会の委員

・市職員 5名

・学識経験者 2名

・その他市長が必要と認める者 1名 計8名

(3) 第1次審査について

審査基準に基づき、資格・書類審査を実施しました。

審査結果

応募者2団体中、2団体を第2次審査対象団体としました。

(4) 第2次審査について

プレゼンテーション及び選定委員によるヒアリングによる審査を実施しました。

審査結果

・採点結果

| 団体名 | フレンドシップ上戸田共同事業体 | 団体A    |
|-----|-----------------|--------|
| 合計点 | 1,451点          | 1,284点 |

各委員220点で8名、1,760点満点で実施。

(5) 選定理由

提出された申請書類を選定基準に基づき総合的に審査した結果、合計点が最高点であった。

また、指定管理者の実績が豊富であるとともに、下記5の提案内容が適当であり、施設の管理運営を安定的に行える能力を有すると判断した。

5 指定管理者候補者の主な提案内容

(1) 上戸田地域交流センター

基本理念は「私の、私たちのあいパル」とし、「みんなのしたいことを、みんなで作るあいパル」をめざしていく。「安心感」、「多様性」、「合意形成」、「自信・愛着」、「期待感」という価値観を大事にしながら、地域交流の拠点としてのメッセージを発信し、施設・地域への愛着と相互理解を生み出していく。施設管理については、これまでの施設管理の経験を活かし、施設管理上特に重視すべき安全管理のポイントを踏まえながら進めると共に、経年などによる突然の不具合発生時にも柔軟に対応していく。

当初から実施している「おまつり」の開催に当たっては、「とだハピ祭り」のような市民の自主的な活動を育てていくおまつりと、市民が来館するきっかけをつくるプロモーションとしてのおまつりの両輪から推進していく。また、「あいパル音楽祭」等を通じて、新しい活動グループの立上げにつなげる等、おまつりを通じた市民の自発的な活動の後押しも進めていく。

地域の防災活動については、新たに立ち上がった防災クラブの活動を推進し、防災が「みんなの自分ごと」となるよう、防災意識の醸成を図り、災害時に必要な相互理解と地域ネットワークの構築を進めていく。その中では、近隣町会と連携しながら防災意識の向上を図っていく。

地域交流・多世代交流事業として実施している「ラジオ体操」について、親子連れにも積極的に声掛けし、また、親子用のスタンプカード等を企画することで、幅広い世代の参加を促進する。「ラジオ体操」後に「ぬり絵」や「紙粘土

ひろば」等のフリーイベントを行い、高齢者と親子連れとの多世代交流のきっかけづくりを進める。また、小学校や中学校と連携し、子どもたちに、学びの発表の場を提供する等、大人と子どもとの交流の場をつくっていく。

男女共同参画事業として、多様な市民へ広く啓発を行うため、「自然と目に入る」情報ステーションを設置すると共に、市民ボランティアと連携して男女共同参画フェスティバルを開催する。また、カフェの営業終了後に、ラウンジをミニ映画館として活用し、男女共同参画に関連した映画を放映することで、友人や家族で話し合い、深く考えるきっかけをつくっていく。

その他、施設の特色や魅力を伝えるブランドブックの作成・配信や、また、SNS等を活用した情報発信の質を向上させていく。

## (2) 戸田市立図書館上戸田分館

市民と共に成長する「みんなの図書館」として司書資格者の長のもと、複合施設の特徴を活かし地域の防災活動拠点、多世代交流拠点、また男女共同参画の拠点の面を備えた上戸田地域交流センターのスタッフも含めた合議制による選書・除籍体制の構築を進めていく。

「誰一人取り残さない」情報提供を目指すため、これまで読書を諦めていた視覚障がい者に向けての電子書籍サブスクリプションサービス「アクセシブルライブラリー」の導入を行う。導入後は、視覚障がいのある方と共に制度の設計運用について協議を進めていく。

ひとりで楽しむ読書から、みんなで楽しむ読書への変革のため、市民が主体となった「図書館まつり」(例：市民による本の展示、多様なジャンルの読書会、本の体験ワークショップ)を実施し、地域交流の輪を、本を通して作っていく。

PBL の地域活動拠点として、「グループ学習室」の提供を行う。グループワークに必要な備品や、学習用器材を導入し「研究室(ラボ)」としての機能を持たせ子どもたちの学習の支援を行い、「公開あいパル Lab.(ラボ)」として発表の場の提供を行っていく。

子育て世代へのサービスとして1組からでも要望に応じて行うミニおはなし会(「おはなしのバスケット」)をキッズスペースにて実施する。子どもや、その保護者も周りの目を気にせずおはなしに集中でき、都度コミュニケーションを取りながら、本との触れ合いを楽しむことで、個々のニーズに合わせたサービスの提供を行う。